

年間第24主日

「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか？」

マルコ8. 29

今日の福音書に登場するイエスは、人々が自分のことを何と言っているかを知った上で、弟子に「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか」と尋ねました。ペトロが答えた。「あなたは、メシアです。」

私たちはこの福音書の出来事を過去に何度も聞いています。それでも、いま、なお、主が私たちにとって誰であることを振り返ることが求められると思います。私たちは、主がペテロに尋ねたように、私たちにも尋ねているのではないかと思います。

実は、この問いかけは、私たち一人ひとりにも向けられています。そして、この質問を意味のあるものにするためには、私たちはこの質問に個人的に答えなければなりません。その答えは、私にとって主がどのような存在であることを示すことです。ペテロにとってイエスが救世主であるならば、その答えはすべてを捨ててイエスに従うという決断を貫くことを意味します。

さて、私たちにとってイエスとはどのような方でしょうか？皆さんは様々なイメージを持っていると思っています。

私にとって、イエスは私の道を導く光です。時々、私たちは暗闇の中にいますが、イエスの光が私たちを導いてくれます。

私にとって、イエスは正しい道を示す道導です。時々、私たちは間違った道に進むかもしれませんがイエスはいつもUターンするチャンスを与えてくださいます。時々、私たちは他の多くの間違った教えや考え方に従うかもしれませんが、その時イエスは私たちを修正し、正しい生き方をするように私たちを強くしてくれます。

私にとって、イエスは私たちの命です。なぜなら、私たちが失敗したり、重荷を背負ったりしたとき、イエスは私たちに励ましを与えてくださるからです。イエス様は、私たちの周りにいる人や困っている人の中に存在しています。

私にとってイエスは、私たちが健やかに成長することを教えてくれる師匠なのです。忍耐力を失わず、私たちに励ましてくれるマスターです。

私にとって、イエスは私たちをゴールに導くリーダーです。他の人のために自分の人生を犠牲にするリーダーです。

私にとってイエスは、すべての人に無限の愛と慈悲を示す神です。

私にとってイエス様は、私たちのことをよく知っていて、私たちの救いのために自分の命を捧げる覚悟で助けてくれる真の友人です。

